



じんけんを「他人ごと」から「自分ごと」へ

OYA OYA 通信

学びのホームグラウンド じんけん楽習塾

報告 7/29 新自由主義は学校をどのように変えていくのか ～現代の教育改革について考える～
濱元伸彦 (関西学院大学)

前回のテーマは新自由主義でした。新自由主義とは、小さな政府、市場の自由を推進する考え方で、大胆な規制緩和、市場原理の導入、競争主義成果主義に基づき、公的サービスの向上をはかるといふものです。



この回は、学校や教育における影響について考えました。新自由主義的な教育改革とは、教育に市場原理を導入するもので、当然、競争主義、成果主義になります。学力テストの点数(成果)がその学校の評価になるので、教育現場では点数のとれない生徒が試験を休むというようなことが起きているそうです。「自由」という言葉が使われているけれど、それは、市場や力ある側にある「自由」なんだと思いました。子どもも教員もむしろ管理が強化され、能力ではかられ、できない自分がダメなんだという自己責任論が強くなっていると感じました。

一方で、自分自身がとても新自由主義的、能力主義的な考え方が好きなんだということにも、改めて気づかされました。被差別の立場にある者は、競争のスタートラインすら不公平で差別されてきたと思ってしまうからです。でも、能力があれば、競争に勝てばそれでいいのか?それが人間らしい生き方なのか、いろいろなことを考えた回でした。

(文責 李ぼんみ)



みんなのふりかえり

■「新自由主義」とはを学ぶ講義かなと思っていたのが、そうではなく、知って問題点を考える内容でした。問題提起もいっぱいあって、政治と教育はトップダウンではダメだと思いました。成果主義が学校教育の中へ浸透するのは恐ろしいなと痛感しました。いろいろな面での弱者は切り捨てられるのでしょうか?

■今回のコロナウイルス災禍で今の社会は「自己責任志向」が強まっているとわかりました。それがいろいろな差別を顕在化しているのでしょうか。いじめられるのは〇〇が悪いから。だから差別してもいい、いじめてもいい。「変な」ことをするあの人は悪いから排除しないとイケない。というのと同じです。人権教育の重要性を更に強く感じた時間でした。新自由主義にに対抗するためにも。大阪は商人の町で「もうかりまっか?」が日常会話。成果主義、新自由主義はそれをいかしているんだろうな。人権教育も大阪の町でがんばってきたから。負けへんで!! (と言いたい)

■T市の市民意識調査で感じたのは、今のコロナの状況が続くと、自己責任志向が強くなって、反差別志向、個の尊重志向が弱くなるんだと感じました。

連絡

もし参加者の皆さんで宣伝したいチラシ等ありましたら、ご持参ください。毎回ふりかえり用紙をくばります。後でメールファックスでもいいので送ってください。お願いします。通信に反映させたいと思います。(公開だめなものはオープンにしません)

写真を撮影しますが、OYA OYA通信、八尾市人権協会のホームページなどで使用場合があります。なるべく個人が特定しにくいものと考えていますが、困るという方は事務局に申しつけてください。

■新自由主義を競争中心主義にとらえるイメージでみてきたが、それにトップダウンが加わってイメージが広がりました。最後に出して



いただいたような事例を各地から深めて知恵を高めていくことができると思いました。♪あおられてはしごのぼって ころげおちる♪

■何が正しいかがわからないのですが。自分の子どもに中3がいますが、子ども自身が変なプレッシャーや「チャレンジテスト」に不満をもってる様子がないので、今まで深く考えてなかったのですが、学校の評価が下がるから『「チャレンジテスト」受けない』なんて言われるようなことがあったら、深刻です。私のうちは、学校でも就職でも選んでいけよ、なんでも目標をもって頑張らないとしか言っていないし、子どもらも、そんな風に、それなりに頑張ってくれています。

■個人的にすごく「？」が多い内容だった。講義内容は理解できるが「？」が多い理由として、表現がすごい攻撃的？悪意？的なものを感じました。何度か色々な講義に参加させていただいているが、今までの中で一番残念な思いをしました。色々考えていかないかで、前向きにとらえたり、メリットとデメリットの説明もそんなになく、批判的な意見が強いように感じました。「やっている感」や「やりたがる」と言った表現が気になります。全てが未知の中での対策や政策、基準等を出しているのに、どうして「やっている感」「やりたがる」等の強い（攻撃的）？表現になるのか？

■中学の時、勉強を難しく感じていたことがあり、その時通っていた塾が「その子を〇点上げる」という方針でした。学習と一緒に「学習の楽しさ」を知ることができ、自分のその後に大きく影響したことを思い出しました。

■人権教育を大切に考える者としては、新自由主義の流れは、本当に生活がきびしい子どもたち（困難をかかえる子どもたち）をどんどん落ちこぼしていく、こわさが見えかくれしていると思います。こんな時だからこそ、同和教育、人権教育が大

2020年度ルール

参加	マスクにまけない
	楽しく
尊重	自分のペースで
	ひとことしゃべる
守秘	時間をわけあう
	しつこく追求しない

切にしてきたことをもう一度見直すことに価値があるように思います。

■全国学テについては、もやもやしたものを、抱えながら、現場では少しでも子どもの力になるようにと、とりくまざるをえないのが、現状です。しかし、この成果主義の流れにまどわされることなく、教育の検証軸は、必ず、子どもの姿であることを訴えていきたいです。そして、今だからこそ、数値でしか表れない学力ではなく、なかまとともに生きる力を、どうやってつけていくのか、日々追求していかなければ・・・と思いました。♪しんどい子に より そってこそ の リーダーだ！！♪

■急速な変化をし続けている教育現場で、子どもたちにとって、何を大切にしなければならないのかを常に考え続けることが本当に大事だなと感じました。

■勉強の大切さは否定しないですが、運動会とか行事的なことから学ぶ事もたくさんあると思うので、そういう教育もとても重要だと思いました。子どもが楽しいと思える学校づくりが一番大事な事かなと思いました。

■テストの結果を重視する結果、より大切なことが切り捨てられ、できない生徒には、生き苦しい状態が進む。権力者の物言いはわかりやすいが、乱暴なので、注意しなくてはいけない。「教育とは？」という問いを置き去りに進んでいってしまう。

